

# 目 次

## I 豊かで美しい自然環境の保全

(1) 緑地環境保全地域一覧	1
(2) 自然記念物一覧	1
(3) 滋賀県の自然公園	2
(4) 湖岸の保全・再生	4
(5) 滋賀県で大切にすべき野生生物（2005年版）種類一覧	4
(6) 指定希少野生動植物種、指定外来種、指定野生鳥獣種および生息・生育地保護区	5
(7) 有害鳥獣捕獲数	6
(8) 鳥獣保護区等	6
(9) 傷病鳥獣保護状況	6
(10) 鳥獣保護区等指定箇所	7
(11) 鳥獣生息状況調査	7
(12) ガンカモ科、カイツブリ科等鳥類生息調査結果（地区別・年度別）	8
(13) ヨシ群落の保全区域	17
(14) 風景条例に基づく届出および指導助言の状況	18
(15) 近隣景観形成協定地区一覧	19

## II 健全な水環境の保全

(1) 琵琶湖・瀬田川水質測定地点図	21
(2) 琵琶湖水質調査結果総括表	22
(3) 主要項目平均値	43
(4) 琵琶湖水質調査結果	57
(5) 環境基準点総括表	107
(6) 琵琶湖水深別調査結果	111
(7) 赤潮、アオコの発生状況	150
(8) 平成18年度水浴場水質測定結果	155
(9) 河川の環境基準類型、調査地点	156
(10) 各河川別に見る水質の状況	157
(11) 県内の生活排水処理状況（汚水処理施設整備状況）	207
(12) 凈化センター運転状況	207
(13) 公共下水道の整備事業	208
(14) 超高度実証施設による COD 処理状況	208
(15) 工場排水規制の実施状況	209
(16) 代かき・田植え時期の河川の平均透視度の状況	209
(17) ゴルフ場使用農薬調査結果	210

(18) 余呉湖の水質調査	212
(19) 西の湖の水質調査	226

### III 快適な生活環境の保全

(1) 大気汚染常時監視測定期局・測定項目一覧	233
(2) 大気汚染常時監視測定期局測定結果	234
(3) 有害大気汚染物質モニタリング調査結果	264
(4) 大気関係立入調査件数	265
(5) 大気環境中のアスベスト濃度の調査結果	266
(6) 酸性雨調査	267
(7) P R T R 関連大気中化学物質調査結果	267
(8) ダイオキシン類調査内容および調査結果	269
(9) 地下水調査結果の詳細	271
(10) 自動車騒音常時監視結果	276
(11) 新幹線鉄道騒音測定結果	277

### IV ゼロ・エミッションの取組の推進

(1) 廃棄物リサイクル、減量化の取組	279
(2) 廃棄物処理施設ダイオキシン類調査結果	279
(3) P C B 廃棄物保管・使用状況等の届出数	280
(4) 廃船対策による処理隻数	280
(5) 不法投棄等事案の過去3年間の解決状況	280

### V 確実な環境配慮の実践

(1) 県民清掃運動実施結果（市町別・年度別）	281
-------------------------	-----

### VI 新たな環境活動基盤の整備

(1) 滋賀の環境自治を推進する委員会（環境自治委員会）の申立案件とその審査結果	283
--	-----

## VIII 届出施設数等調査結果

1 水 質	303
(1) 特定施設番号別特定事業場数	303
(2) 排水規模別特定事業場数	304
(3) 項目別検体数および不適合数	305
(4) 工場排水調査状況	306
(5) 業種別行政措置件数	307
2 大 気	308
(1) ばい煙発生施設設置状況	308
(2) 一般粉じん発生施設設置状況	308
(3) 特定粉じん発生施設設置状況	309
(4) 「公害防止条例」による横出し施設の設置状況	309
(5) 挥発性有機化合物排出施設の設置状況	309
3 自然公園許可件数	310
4 廃棄物処理施設および産業廃棄物処理業者数	310
5 ダイオキシン類	311
(1) ダイオキシン類対策特別措置法特定施設届出状況	311
(2) ダイオキシン類対策特別措置法自主測定届出状況	312
(3) ダイオキシン類常時監視調査に係る土壤および地下水調査結果一覧表	314

## ○ 参考資料

○環境基準等	315
○滋賀県環境審議会の審議状況	324
○審議会等委員名簿	325
1 滋賀県環境審議会委員名簿	325
2 滋賀の環境自治を推進する委員会委員名簿	326
3 滋賀県環境影響評価審査会委員名簿	326
4 滋賀県ヨシ群落保全審議会委員名簿	327
5 滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化審議会委員名簿	328
6 滋賀県景観審議会委員名簿	329
7 滋賀県森林審議会委員名簿	330
8 滋賀県公害審査会委員名簿	330

## ご利用にあたって

- 1 本書は、滋賀の環境2008（平成20年版環境白書）の資料編として取りまとめたものです。
- 2 本書に掲載したデータは、原則として平成19年度のものです。
- 3 本書に掲載の調査担当機関名は、平成19年度調査時点の名称です。
- 4 本書の符号の用法は次のとおりです。

### 天候

コード	天 候	コード	天 候	コード	天 候
01	快晴	08	霧	15	雷
02	晴	09	霧雨	16	一時雨
03	薄曇	10	雨	17	一時雪
04	曇	11	みぞれ	18	時々雨
05	煙霧	12	雪	19	時々雪
06	砂塵あらし	13	あられ	20	大雨
07	地ふぶき	14	ひょう	21	大雪

### 採取位置（河川の場合）

コード	内 容	コード	内 容
01	流心（中央）	04	左岸・右岸の混合
02	左岸	05	左岸・右岸・流心の混合
03	右岸		

### 水質関係の単位

項 目	単 位	項 目	単 位
気 温 ・ 水 温	°C	クロロフィルa	μg/L
水 深	m	クロロフィルb	μg/L
流 量	m <sup>3</sup> /s	クロロフィルc	μg/L
透 明 度	m	フエオ色素	μg/L
透 視 度	cm	EC	mS/m
大 腸 菌 群 数	MPN/100mL	そ の 他 (特に断らない限り)	mg/L
糞便性大腸菌群数	個/100mL		

なお、琵琶湖、河川等の水質調査結果で、大腸菌群数が「9.2E03」「1.1E02」のように表示されているものは、それぞれ「9.2×10<sup>3</sup>」「1.1×<sup>2</sup>」であることを示す。